

1 運営

(1) 定期所員総会 (2019・5・21)

1. 平成30年度事業ならびに会計報告 (承認)
2. 令和元年度事業実行計画案 (承認)
3. 令和元年度実行予算案 (5,857,640円) (承認)
【人事課移管分人件費 (アルバイト料) 1,057,360円】 (承認)

(2) 臨時所員総会 (2019・7・16)

1. 所長の選出について (承認)

(3) 第2回定期所員総会 (2020・1・7)

1. 令和元年度事業中間報告 (承認)
2. 令和2年度事業計画 (承認)
3. 同 予算要求 (承認)
4. 同 予算要求明細 (承認)
5. 次期所長の選出 (投票結果に基づく推薦) (承認)

(4) 運営委員会 (7回開催)

1. 平成31年4月16日 商学研究所 (図書館生田分館5階)
第1回運営委員会 (12名)
2. 令和元年5月21日 商学研究所 (図書館生田分館5階)
第2回運営委員会 (15名)
3. 令和元年7月16日 商学研究所 (図書館生田分館5階)
第3回運営委員会 (13名)
4. 令和元年10月15日 商学研究所 (図書館生田分館5階)
第4回運営委員会 (15名)
5. 令和元年12月3日 商学研究所 (図書館生田分館5階)
第5回運営委員会 (12名)
6. 令和2年1月7日 商学研究所 (図書館生田分館5階)
第6回運営委員会 (13名)
7. 令和2年1月28日 専修大学生田校舎 (9号館M969教室)
第7回運営委員会 (13名)

2 研究活動

(1) 定例会研究会

第1回定例会研究会 (15名)

日 時: 5月21日(火) 15:30~17:00

場 所: 商学研究所

テーマ: 「ストラテジック・カップリングと技術依存—台湾 FPD 産業の光と影」

報告者: 田島 真弓 (専修大学商学研究所所員)

第2回定例会研究会 (10名)

日 時: 7月20日(土) 13:30~16:30

場 所: 専修大学 神田キャンパス5号館4階 (541教室)

テーマ: 「アリババ(中国)による「ニューリテール(新小売)」の挑戦: 現状と展望」

報告者: 呂 志彬 (アリババ研究院新商業研究中心 副主任)

孫 維維 (専修大学商学研究所所員)

講 演:

13:30~13:35 開会のご挨拶

13:35~14:00 解題「中国小売市場の現状とニューリテールについて」

孫 維維

14:05~15:35 「デジタル時代におけるアリババの実践—メーカー・小売・消費者への対応」

呂 志彬 (逐次通訳あり)

15:40~16:25 ディスカッション

16:25~16:30 閉会のご挨拶

第3回定例会研究会 (8名)

(一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会との共催)

日 時: 7月24日(水) 18:30~19:45

場 所: 神田キャンパス7号館7階781教室

テーマ: 三陽商会「Watatumugi プロジェクト」

報告者: 亀田 真真 (株式会社三陽商会 新規事業ビジネス部 アボリス)

第4回定例会研究会 (15名)

(本学情報科学研究所との共催)

日 時: 11月12日(火) 12:25~13:00

場 所: 生田キャンパス9号館6階M969

テーマ: 「スーパーマーケットのレジの混雑が店舗内購買行動に与える影響」

報告者: 中原 孝信 (専修大学商学研究所所員)

第5回定例会研究会 (18名)

日 時: 11月27日(水) 18:30~19:45

場 所: 専修大学神田キャンパス1号館8階8A会議室

テーマ: 「ソーシャルプロダクツ・アワード2015優秀賞 受賞商品に学ぶ伝統工芸の新しいカタチ—協業で価値を創造するユニバーサルデザイン食器—」

報告者: 大竹 愛希 (合同会社「楽膳」代表社員)

概 要:

伝統工芸を現代の生活になじむ商品として生まれ変わらせた「楽膳(Rakuzen)」の漆器は、使いやすさ、美的造形性の高さを兼ね備えており、単に伝統工芸品に現代テイストを加えただけの商品ではない。

商品開発の段階から障がい者に参画してもらい、彼らの視点を取り入れたものづくりをすることで、「障害者とともにつくるユニバーサルデザイン」という新しいコンセプトを生み出した合同会社楽膳の代表社員大竹氏から、①事業開始までの経緯、②ブランドコンセプト、③協業の取り組み、④今後の展望についてご報告いただいた。

(2) 公開シンポジウム

1. 専修大学商学研究所共催シンポジウム (9名)

(専修大学社会知性開発研究センター/アジア産業研究センター共催)

日 時: 令和元年9月21日(土) 13:00~16:45

会 場: 専修大学神田校舎7号館3階731教室

テーマ: 東南アジアの企業経営における現地文化とリスク対応—ベトナム、台湾、オーストラリアを中心に—

プログラム:

シンポジウムの趣旨説明 (13:00~13:15)

専修大学商学部教授 上田 和勇

発表 (13:15~15:30)

1. 「ベトナムのビジネス文化の特徴と課題」(13:15~13:45)

専修大学商学部准教授 池部 亮

2. 「台湾のビジネス文化の特徴と課題」(13:45~14:15)

専修大学商学部准教授 田島 真弓

休憩 (14:15~14:30)

3. 「Australian Business Culture: The Role of Humour in the Australian Workplace」(14:30~15:00)

James Cook University 特任教授 Matthew Allen

4. 「ビジネス文化の国際比較とマネジメントの方向性」(15:00~15:30)

専修大学商学部教授 上田 和勇

休憩 (15:30~15:45)

パネルディスカッション (15:45~16:45)
テーマ:「アジア・オセアニアにおけるビジネス・カルチャー・
ギャップをどうマネジメントするか」

(パネリスト)

専修大学商学部教授 上田 和勇

James Cook University 特任教授 Matthew Allen

専修大学商学部准教授 池部 亮

専修大学商学部准教授 田島 真弓

(モデレーター)

専修大学商学部教授 小林 守

(3) 研究プロジェクト

(A) 上田チーム: 上田 和勇 所員・池部 亮 所員・岩尾 詠一郎 所員・大崎 恒次 所員・神原 理 所員・小林 守 所員・飯沼氏・外部4名

「東南アジアの企業経営における現地文化とリスク対応」

(50万) 3ヵ年計画の3年目

(B) 神原チーム: 神原 理 所員・吾郷 貴紀 所員・大林 守 所員・中原 孝信 所員

「都市型フィールドワークの技法」

(50万) 3ヵ年計画の2年目

(C) 渡辺チーム: 渡辺 達朗 所員・渡邊 隆彦 所員・新島 裕基 所員

「地域情報のデジタルアーカイブ化と地域活性化: 神田神保町を事例にした効果的な収集・共有・発信の方法の検討」

(50万) 3ヵ年計画の1年目

(4) 国際交流

(1) 令和元年9月4日~令和元年9月6日 (上田、田島の両所員参加)

・令和元年9月5日: 台湾政府科技部で開催される「地方創生と社会実践」をテーマとする日台合同シンポジウムに参加、研究報告を実施。

・令和元年9月5日: 今後の教育・研究交流促進のための国立台北大学訪問

(2) 令和元年9月21日

専修大学商学研究所主催公開シンポジウム(上田プロジェクト) 共通テーマ「東南アジアの企業経営における現地文化とリスク対応—ベトナム、台湾、オーストラリアを中心に—」

上田、池部、田島所員による研究報告とJames Cook University 特任教授 Matthew Allen 氏による報告

(報告テーマは以下の通り) とパネルディスカッションの実施 (モデレーター: 小林所員) (本学神田キャンパス)

「Australian Business Culture: The Role of Humour in the Australian Workplace」

James Cook University 特任教授 Matthew Allen 氏が発表。

3 刊行書籍

(1) 商学研究所報発行

第51巻第1号 (2019・6)

田島 真弓 (350部)

「台湾ハイテク〜Nへの資金調達及び投資メカニズム—日本の大手電機メーカーに与えた打撃—」

第51巻第2号 (2019・7)

関根 孝・趙 時英 (350部)

「日韓における家電品のオムニチャネル・マーケティング研究」

第51巻第3号 (2019・10)

川野 訓志 (350部)

「九州における出店規制—その意図と変遷—」

第51巻第4号 (2019・12)

手嶋 宜之 (350部)

「経営者のモラルハザード—医療経済学からの示唆—」

第51巻第5号 (2020・1)

石川 和男 (350部)

「1980年代から1990年代における医薬品流通の変遷—業価引下げをめぐる影響を中心として—」

第51巻第6号 (2020・1)

岡田 穰・矢澤 聖志 (350部)

「景観向上機能からみた保全管理活動による海岸林散策路のイメージ評価の変化—佐賀県虹の松原の事例として—」

第51巻第7号 (2020・2)

大崎 恒次・西原 彰宏・中見 真也 (350部)

「“おなかすいた”はいかにして生まれたのか〜ユニークな小売事業モデルの着想とその背景〜」

(2) 専修ビジネスレビュー発行

第15号 (白桃書房、2020・3) (400部)

【論文】

石川和男 「リテールマーケティング研究の道程 (2) —いわゆる「サービス」の統計上の位置づけをめぐって—」

小藤康夫 「老人ホームの経営と財務分析」

孫 維維 「中国における小売型業態店の変革と課題—イノベーションと持続可能なビジネスモデルへの考察—」

田中和雄 「労務管理の基本的機能の把握と労働組合」

【研究テーマ】

神原 理 「社会的消費とSDGsに関する意識調査」

「社会的消費に関する一般的傾向の抽出と検証—MAX-QDAを用いた特性の抽出—」

【書評】

小林 守

牛山隆一 著 「ASEANの多国籍企業—増大する国際プレゼンス」

石川雅啓 著 「新しい貿易実務の解説」

川邊信雄 著 「『国民食』から『世界食』へ—日系即席麺メーカーの国際展開—」

(3) 商学研究所叢書

叢書第19巻 岡田 穰 編著 (白桃書房、2020・3) (100部)

『海岸林の持続可能なシステムの構築 (仮題)』

4 その他

所員数は、合計71名 (内、準所員1名)